令和６年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

令和５年11月10日

上 場 会 社 名　中日本興業株式会社　上場取引所　名
コ ー ド 番 号　９６４３　URL　http://www.nakanihonkogyo.co.jp
代　表　者　(役職名)代表取締役社長　(氏名)服部　徹
問合せ先責任者　(役職名)上席執行役員　感動創造支援本部本部長　(氏名)加藤　康章　(TEL) (052)551-0274

四半期報告書提出予定日　令和５年11月13日　配当支払開始予定日　令和５年12月４日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

１．令和６年３月期第２四半期の業績（令和５年４月１日～令和５年９月３０日）

（１）経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
６年３月期第２四半期	1,930	10.9	130	808.1	134	412.3	110	641.8
５年３月期第２四半期	1,740	32.7	14	―	26	―	14	―

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
６年３月期第２四半期	209.14	―
５年３月期第２四半期	28.19	―

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
６年３月期第２四半期	4,685	3,360	71.7
５年３月期	4,398	3,168	72.0

(参考)　自己資本　６年３月期第２四半期 3,360百万円　５年３月期 3,168百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
５年３月期	―	30.00	―	30.00	60.00
６年３月期	―	30.00			
６年３月期(予想)			―	30.00	60.00

(注)　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．令和６年３月期の業績予想（令和５年４月１日～令和６年３月３１日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,550	6.4	100	―	120	―	100	―	188.45

(注)　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	６年３月期２Ｑ	540,000株	５年３月期	540,000株
②　期末自己株式数	６年３月期２Ｑ	9,363株	５年３月期	9,363株
③　期中平均株式数（四半期累計）	６年３月期２Ｑ	530,637株	５年３月期２Ｑ	530,745株

※　四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2

（１）経営成績に関する説明 …… 2

（２）財政状態に関する説明 …… 3

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3

２．四半期財務諸表及び主な注記 …… 4

（１）四半期貸借対照表 …… 4

（２）四半期損益計算書 …… 6

（３）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 7

（継続企業の前提に関する注記） …… 7

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7

（セグメント情報） …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期累計期間のわが国経済は、５月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが５類となったことにより、行動制限の緩和が進み、経済活動は回復基調にありました。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、エネルギー価格・原材料価格の高騰による物価上昇により景気の先行きは依然として不透明な状況が続いておりました。

このような状況のもと当社では、より一層のサービス向上を心掛け、お客様が安心してご利用いただける環境創りに努めるとともに、積極的な営業活動に努めてまいりました。

その結果、売上高は19億30百万円（前年同期比10.9％増）、営業利益は1億30百万円（前年同期比808.1％増）、経常利益は1億34百万円（前年同期比412.3％増）、四半期純利益は1億10百万円（前年同期比641.8％増）となりました。

【シネマ事業】

シネマ事業においては、「名探偵コナン 黒鉄の魚影」、「ザ・スーパーマリオブラザーズ・ムービー」、「君たちはどう生きるか」等のアニメ作品が好調に推移し、コロナ禍からの回復傾向が続いているものと思われます。

コンセッション等付帯施設の販売強化にも取り組み、収益の改善にも効果が出てきております。

また、日ごろから皆様にご愛顧いただいております「ミッドランドスクエア シネマ」では９月１日に来場者2000万人を達成いたしました。平成19年３月オープンから16年半での達成でありました。

当上半期の主な上映作品としまして、邦画では、４月公開「東京リベンジャーズ２ 血のハロウィン編 運命」、「劇場版TOKYO MER～走る緊急救命室～」、6月公開「東京リベンジャーズ２ 血のハロウィン編 決戦」、７月公開の「キングダム 運命の炎」、洋画では、５月公開「ワイルド・スピード ファイヤーブースト」、６月公開「リトル・マーメイド」、「インディ・ジョーンズと運命のダイヤル」、７月公開の「ミッション:インポッシブル デッドレコニング PART ONE」、アニメでは、４月公開「名探偵コナン 黒鉄の魚影」、「ザ・スーパーマリオブラザーズ・ムービー」、５月公開「劇場版アイドリッシュセブンLIVE 4bit BEYOND THE PERIOD」、７月公開の「君たちはどう生きるか」、ODS(映画以外のデジタルコンテンツ)では、４月公開「滝沢歌舞伎ZERO FINAL 映画館生中継」、５月公開「浜田省吾『A PLACE IN THE SUN 渚園 Summer of 1988』、８月公開の「ゲキ×シネ『薔薇とサムライ２～海賊女王の帰還』」などの番組を編成いたしました。

その他、トークイベント付上映会、予告上映＆宣伝大会やお笑いライブ「よしもと名駅四丁目ライブ」など、バラエティに富んだラインナップを揃えてまいりました。

また、飲食部門の名古屋市千種区の「覚王山カフェJi.Coo.」では、より安全で健康に配慮した季節限定メニューのご提供、また各種イベント等を実施しながら、お客様に満足いただける店舗創りに努めてまいりました。

名古屋市中村区の「ミッドランドシネマ ドーナツ ファクトリー」では、映画作品などのコラボレーションでシナジー効果をもたらし、売上の改善を図ることができました。

この結果、当事業では売上高は17億75百万円（前年同期比11.1%増）、セグメント利益は１億25百万円（前年同期比525.3%増）となりました。

【アド事業】

アド事業においては、各種イベント・展示会の開催も徐々に活気を取り戻している中、お客様のニーズを捉えた営業活動を継続し、顧客満足度をあげるよう努めてまいりました。同時に、一層の業務の効率化を進めてきた結果、前年同期と比べ売上高は持ち直したものの、資材の高騰による影響等から厳しい状況で推移いたしました。

この結果、当事業では売上高は１億16百万円（前年同期比13.9%増）、セグメント損失は10百万円（前年同期はセグメント損失21百万円）となりました。

【不動産賃貸事業】

不動産賃貸事業においては、既存賃貸物件の稼働状況・賃料水準は概ね堅調に推移しましたが、一部の賃貸物件で契約期間満了に伴い、賃貸収入が減少しました。

この結果、当事業では売上高は38百万円（前年同期比4.4%減）、セグメント利益は15百万円（前年同期比3.3%減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第２四半期会計期間末の総資産は46億85百万円となり、前事業年度末に比べ２億87百万円の増加となりました。主な要因は、流動資産の増加２億円によるものであります。

負債は、13億24百万円となり、前事業年度末に比べ95百万円の増加となりました。主な要因は流動負債の増加72百万円によるものであります。

純資産は、33億60百万円となり、前事業年度末に比べ１億92百万円の増加となりました。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和６年３月期の業績予想につきましては、令和５年５月12日公表時から変更はございません。

２．四半期財務諸表及び主な注記

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （令和５年３月31日）	当第２四半期会計期間 （令和５年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	767,481	979,186
受取手形及び売掛金	234,217	226,897
有価証券	300,000	300,000
商品及び製品	9,655	8,987
原材料及び貯蔵品	2,243	1,380
前払費用	29,999	36,645
預け金	47,032	41,271
未収還付法人税等	1,919	1,215
その他	23,944	21,631
流動資産合計	1,416,493	1,617,216
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	836,463	796,873
構築物（純額）	466	2,755
機械装置及び運搬具（純額）	34,909	42,365
工具、器具及び備品（純額）	240,414	213,429
土地	695,913	695,913
建設仮勘定	－	16,863
有形固定資産合計	1,808,166	1,768,201
無形固定資産		
電話加入権	1,147	1,147
ソフトウエア	64,106	55,410
無形固定資産合計	65,254	56,558
投資その他の資産		
投資有価証券	553,102	692,808
関係会社株式	10,000	10,000
差入保証金	516,026	510,380
長期前払費用	29,281	30,706
投資その他の資産合計	1,108,410	1,243,895
固定資産合計	2,981,830	3,068,655
資産合計	4,398,324	4,685,871

（単位：千円）

	前事業年度 （令和５年３月31日）	当第２四半期会計期間 （令和５年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	371,008	420,104
リース債務	60,981	58,772
未払金	33,350	5,205
未払法人税等	7,244	29,565
未払消費税等	29,212	－
未払費用	99,851	114,242
契約負債	45,957	53,524
従業員預り金	4,304	4,415
賞与引当金	17,750	17,620
その他	43,092	81,686
流動負債合計	712,754	785,137
固定負債		
リース債務	177,819	163,263
退職給付引当金	75,330	72,113
長期未払金	21,500	21,500
資産除去債務	88,515	89,258
受入保証金	88,152	84,620
繰延税金負債	65,752	109,082
固定負債合計	517,070	539,837
負債合計	1,229,824	1,324,975
純資産の部		
株主資本		
資本金	270,000	270,000
資本剰余金		
資本準備金	13	13
資本剰余金合計	13	13
利益剰余金		
利益準備金	67,500	67,500
その他利益剰余金		
配当準備積立金	128,327	112,407
別途積立金	2,380,000	2,380,000
繰越利益剰余金	205,836	316,814
利益剰余金合計	2,781,663	2,876,722
自己株式	△71,755	△71,755
株主資本合計	2,979,921	3,074,980
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	188,578	285,916
評価・換算差額等合計	188,578	285,916
純資産合計	3,168,500	3,360,896
負債純資産合計	4,398,324	4,685,871

（２）四半期損益計算書

第２四半期累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 (自 令和４年４月１日 至 令和４年９月30日)	当第２四半期累計期間 (自 令和５年４月１日 至 令和５年９月30日)
売上高	1,740,046	1,930,235
売上原価	916,377	952,256
売上総利益	823,669	977,978
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	17,092	19,131
人件費	278,691	290,698
賞与引当金繰入額	16,570	17,620
退職給付費用	5,459	3,439
減価償却費	90,629	90,370
地代家賃	202,986	201,309
水道光熱費	43,606	45,042
修繕費	2,163	1,946
その他	152,095	177,880
販売費及び一般管理費合計	809,294	847,439
営業利益	14,374	130,538
営業外収益		
受取利息	1,263	1,262
受取配当金	4,959	6,412
協賛金収入	198	350
助成金収入	9,748	―
その他	697	1,694
営業外収益合計	16,867	9,720
営業外費用		
長期前払費用償却	3,034	3,034
その他	1,939	2,638
営業外費用合計	4,973	5,673
経常利益	26,268	134,585
特別利益		
固定資産売却益	―	116
特別利益合計	―	116
特別損失		
固定資産除却損	―	526
特別損失合計	―	526
税引前四半期純利益	26,268	134,175
法人税等	11,306	23,198
四半期純利益	14,961	110,977

（３）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第２四半期累計期間(自　令和４年４月１日　至　令和４年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額	四半期損益計算書計上額
	シネマ	アド	不動産賃貸	計		
売上高						
映画館関連	1,541,504	―	―	1,541,504	―	1,541,504
飲食店関連	55,894	―	―	55,894	―	55,894
看板製作及び広告関連	―	101,949	―	101,949	―	101,949
顧客との契約から生じる収益	1,597,399	101,949	―	1,699,348	―	1,699,348
その他の収入	―	―	40,698	40,698	―	40,698
外部顧客への売上高	1,597,399	101,949	40,698	1,740,046	―	1,740,046
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	―
計	1,597,399	101,949	40,698	1,740,046	―	1,740,046
セグメント利益又は損失（△）	20,062	△21,895	16,207	14,374	―	14,374

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期累計期間(自　令和５年４月１日　至　令和５年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額	四半期損益計算書計上額
	シネマ	アド	不動産賃貸	計		
売上高						
映画館関連	1,704,202	－	－	1,704,202	－	1,704,202
飲食店関連	71,017	－	－	71,017	－	71,017
看板製作及び広告関連	－	116,095	－	116,095	－	116,095
顧客との契約から生じる収益	1,775,220	116,095	－	1,891,315	－	1,891,315
その他の収入	－	－	38,919	38,919	－	38,919
外部顧客への売上高	1,775,220	116,095	38,919	1,930,235	－	1,930,235
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	1,775,220	116,095	38,919	1,930,235	－	1,930,235
セグメント利益又は損失（△）	125,444	△10,583	15,677	130,538	－	130,538

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。